

株式会社 松 屋 11月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概 況
銀座本店	5.2	銀座店は、婦人衣料品において、平年より高い気温の影響もあり、ニット・ブラウス等の軽衣料は好調も、防寒衣料最盛期におけるコート・ジャケットの売上が鈍く、婦人衣料品全体の売上高は僅かに前年を下回りました。食品は、9月にリニューアルオープンした和洋菓子に加え、和洋酒が堅調に売上を伸ばし、また、お歳暮ギフト商戦も好調に推移しました。免税売上高につきましては、化粧品が前年に対して2桁増となる等、引き続き全体を強く牽引しました。一方、免税売上を除いた国内のお客様の売上も、各種販売促進策が奏功し、4.5%の伸びを示しました。なお、銀座店全体では前年に対して土曜日1日減の営業条件(その影響度合いは1.4%減)はあったものの、売上高は4ヵ月連続で前年を上回りました。 浅草店は、化粧品・和洋菓子が好調も、生鮮三品・惣菜の売上高が伸び悩み、店全体では前年を下回りました。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

(ご参考)

銀座店	6.0	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-4.0	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。